

# 千葉県臨床細胞学会

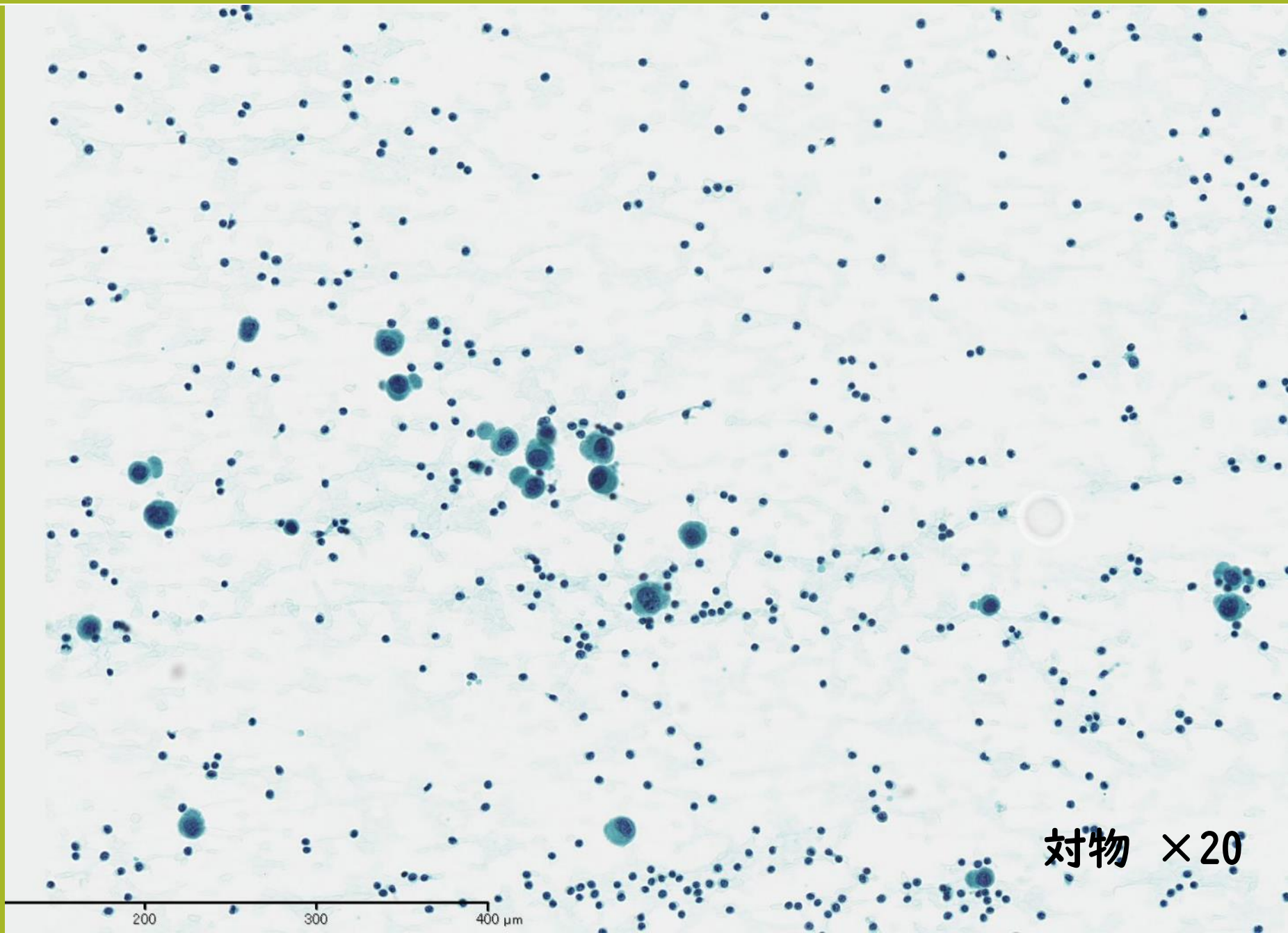
第1回研修会スライドカンファレンス

東京女子医科大学 八千代医療センター

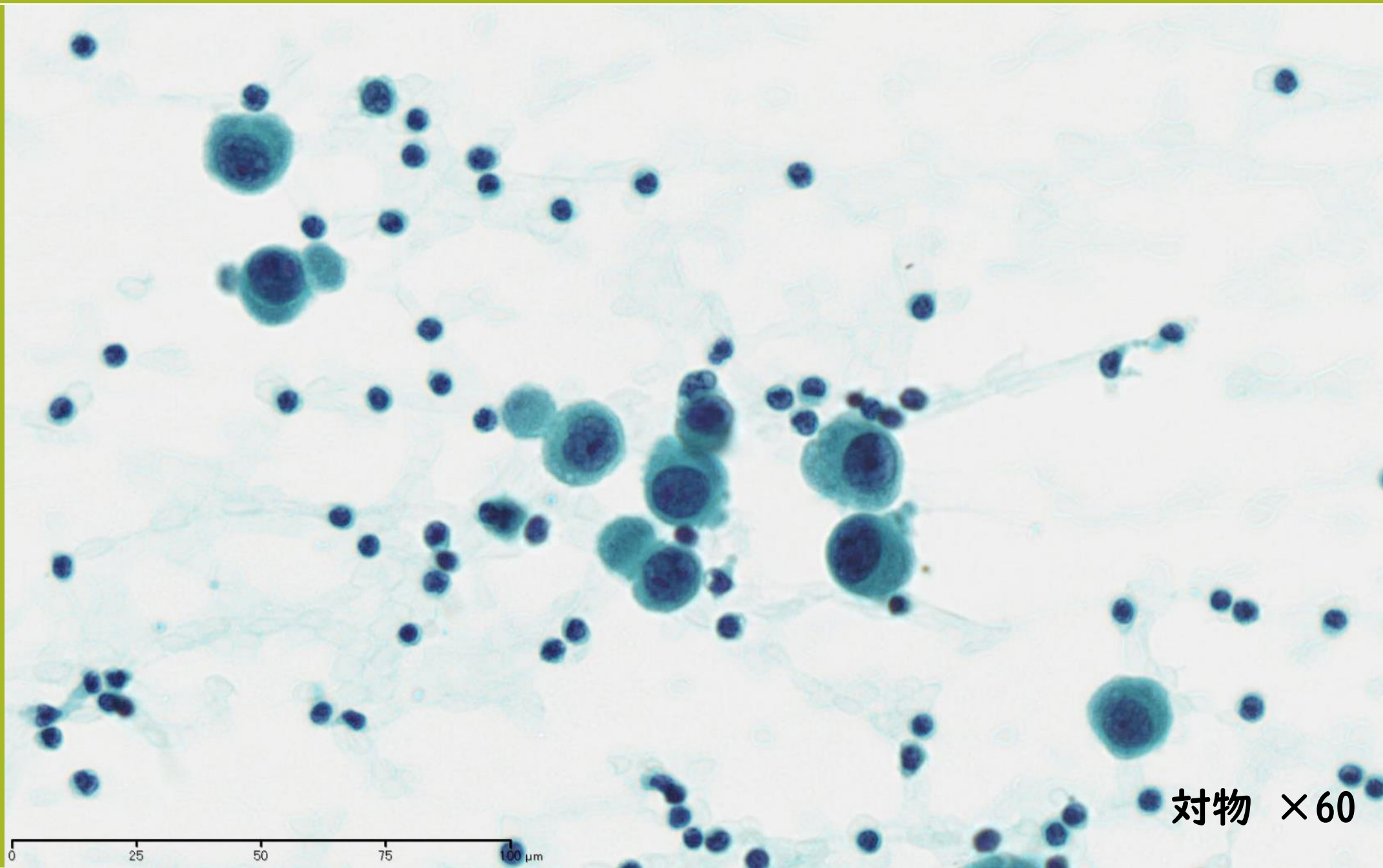
南部 周平

# -症例情報-

- 年齢：80歳代
- 性別：女性
- 採取部位：胸水
- 採取方法：穿刺
- 臨床経過：呼吸苦で受診、レントゲンで右胸水貯留
- その他：既往に右下葉肺癌（腺癌）  
    血中CEA 142 ng/ml  
    胸水ヒアルロン酸 26200 ng/ml



対物 ×20

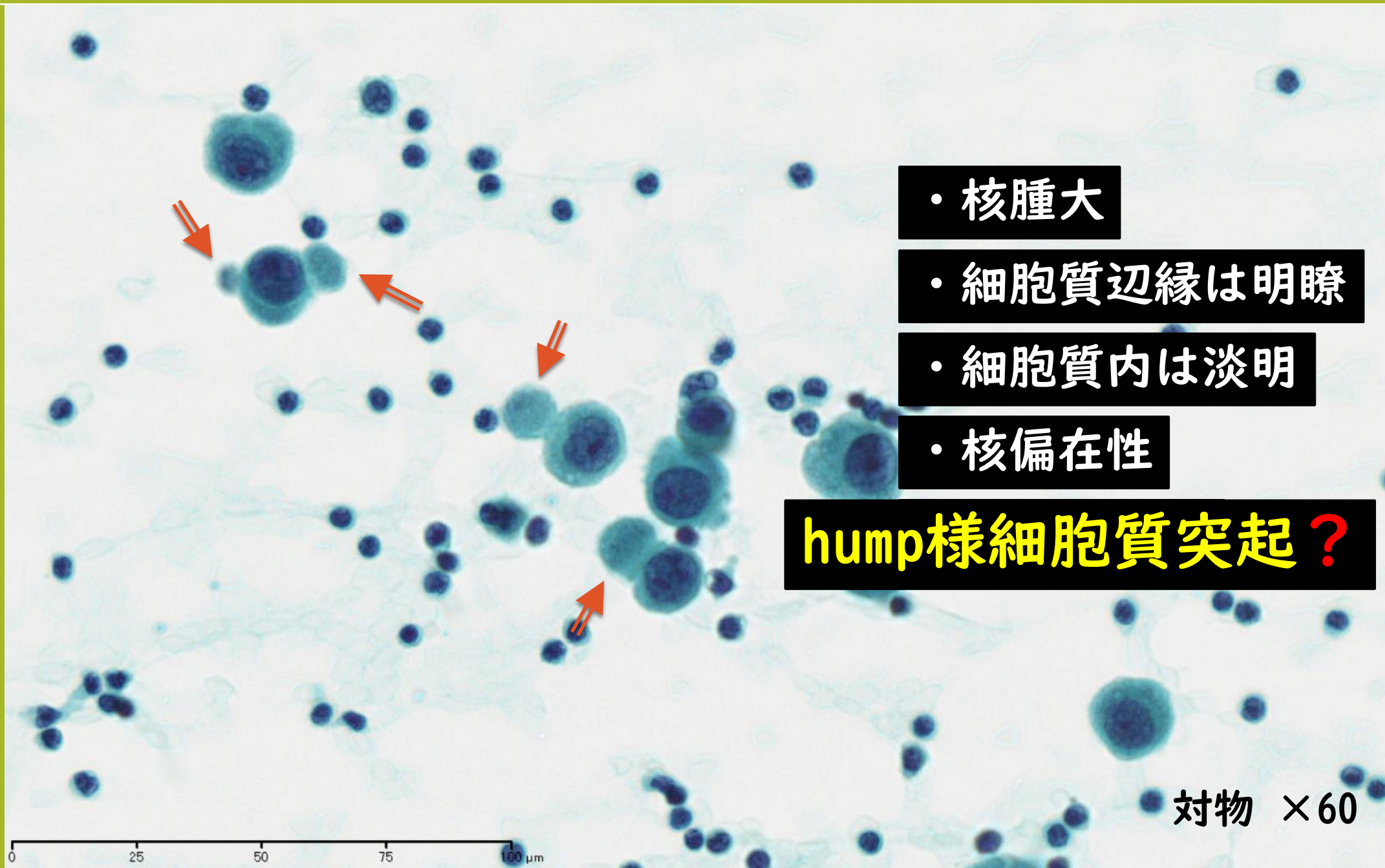


対物 ×60

0 25 50 75 100  $\mu\text{m}$

- ① 反応性中皮細胞
- ② 腺癌
- ③ 扁平上皮癌
- ④ 悪性リンパ腫
- ⑤ 悪性中皮腫





・核腫大

・細胞質辺縁は明瞭

・細胞質内は淡明

・核偏在性

**hump様細胞質突起？**

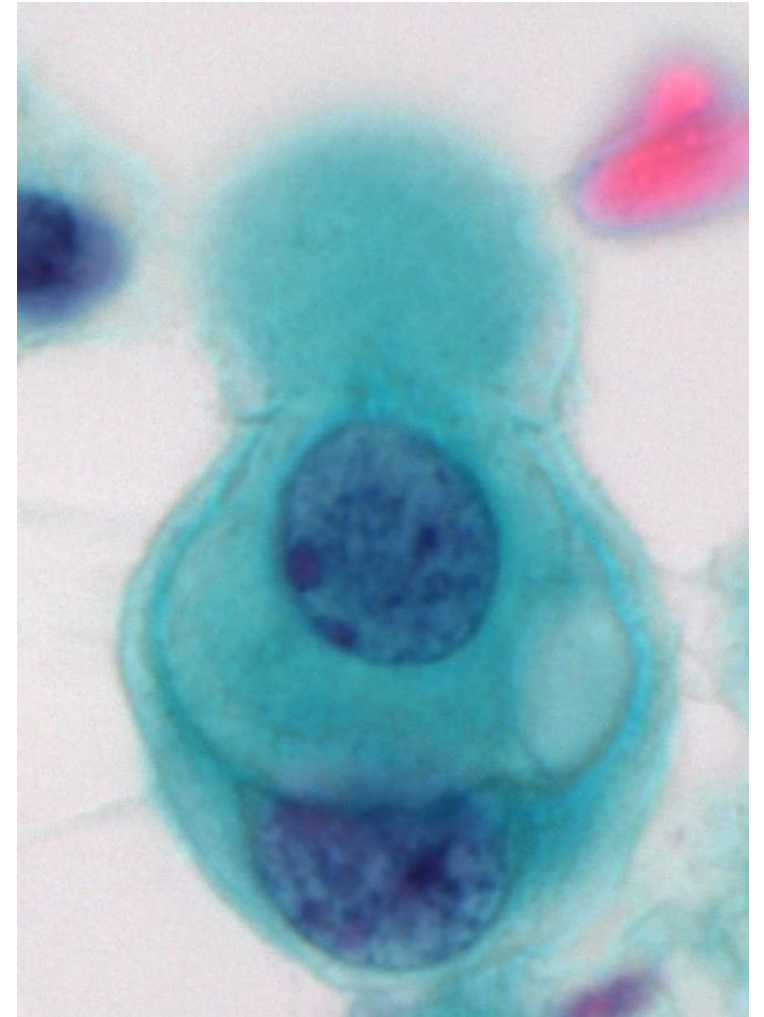
対物 ×60

## hump様細胞質突起とは…

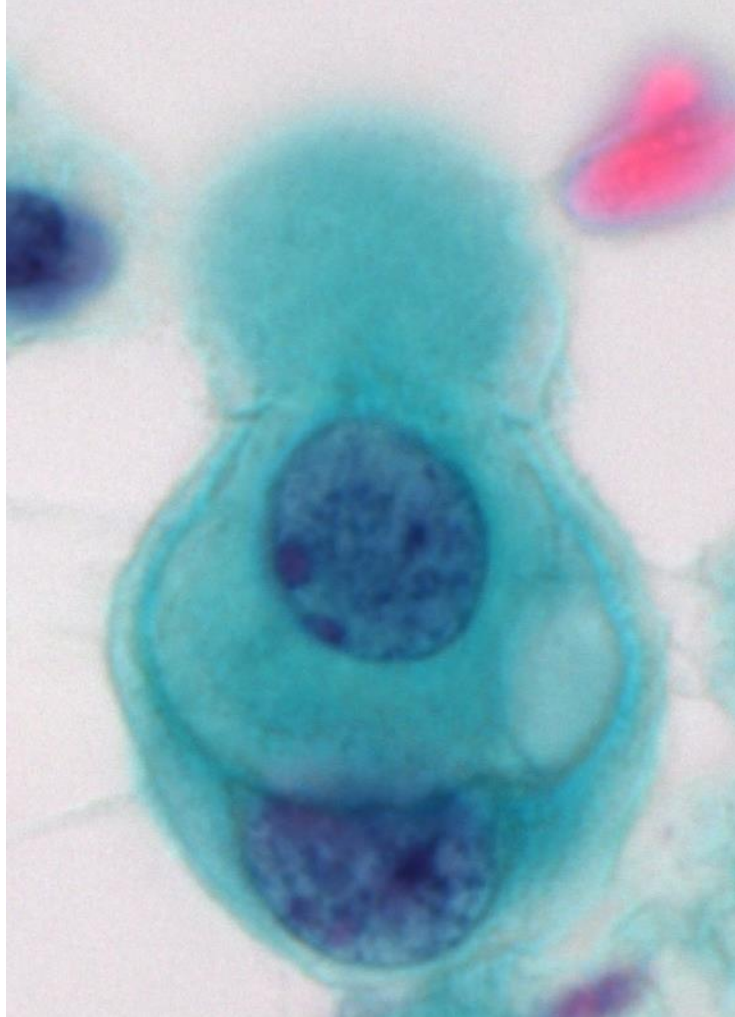
- 主に2個の細胞からなるいわゆる相互封入像で、ライトグリーン好染性のコブ状の突起を指す。
- 侵入細胞によって核は押しやられ、細胞質は侵入細胞を取り込む。侵入細胞の取り残された細胞質がコブ状の細胞質突起として観察される。

日本臨床細胞学会誌 第42巻 第1号-2003より

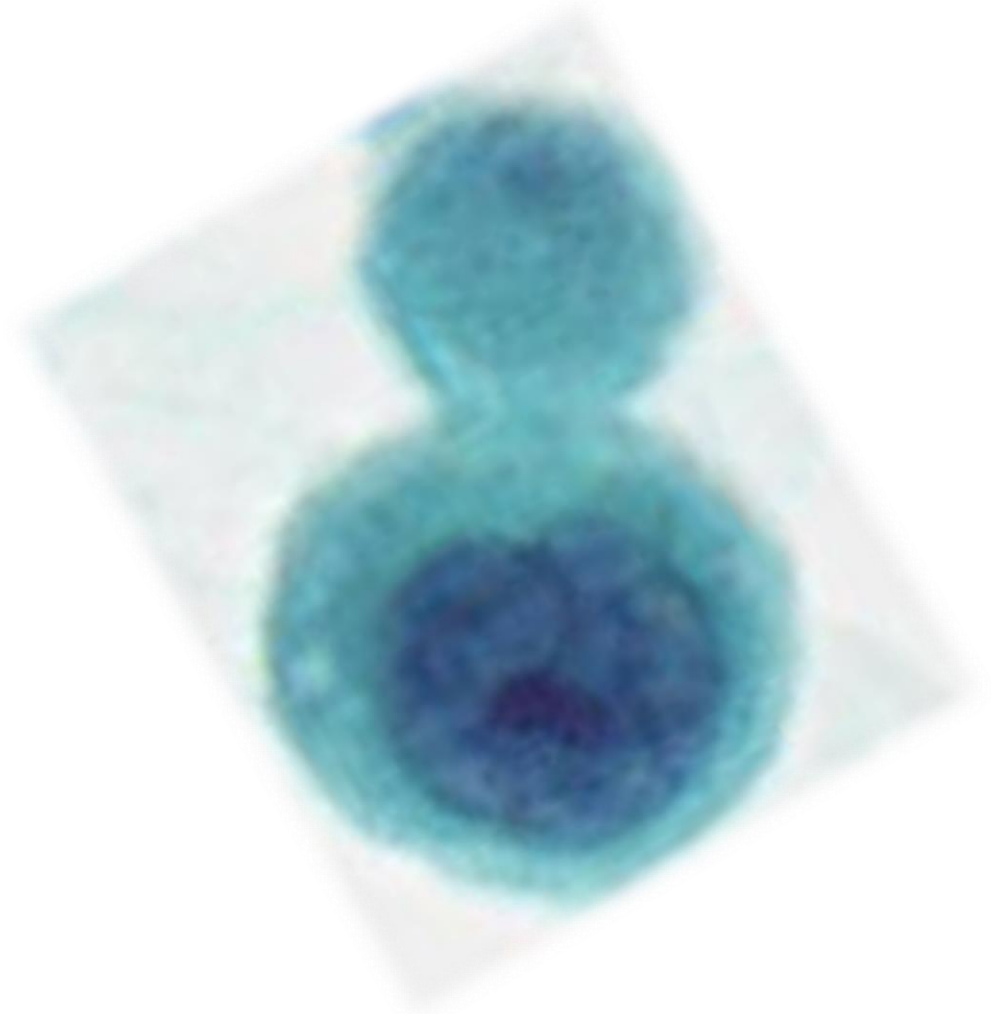
悪性中皮腫 hump



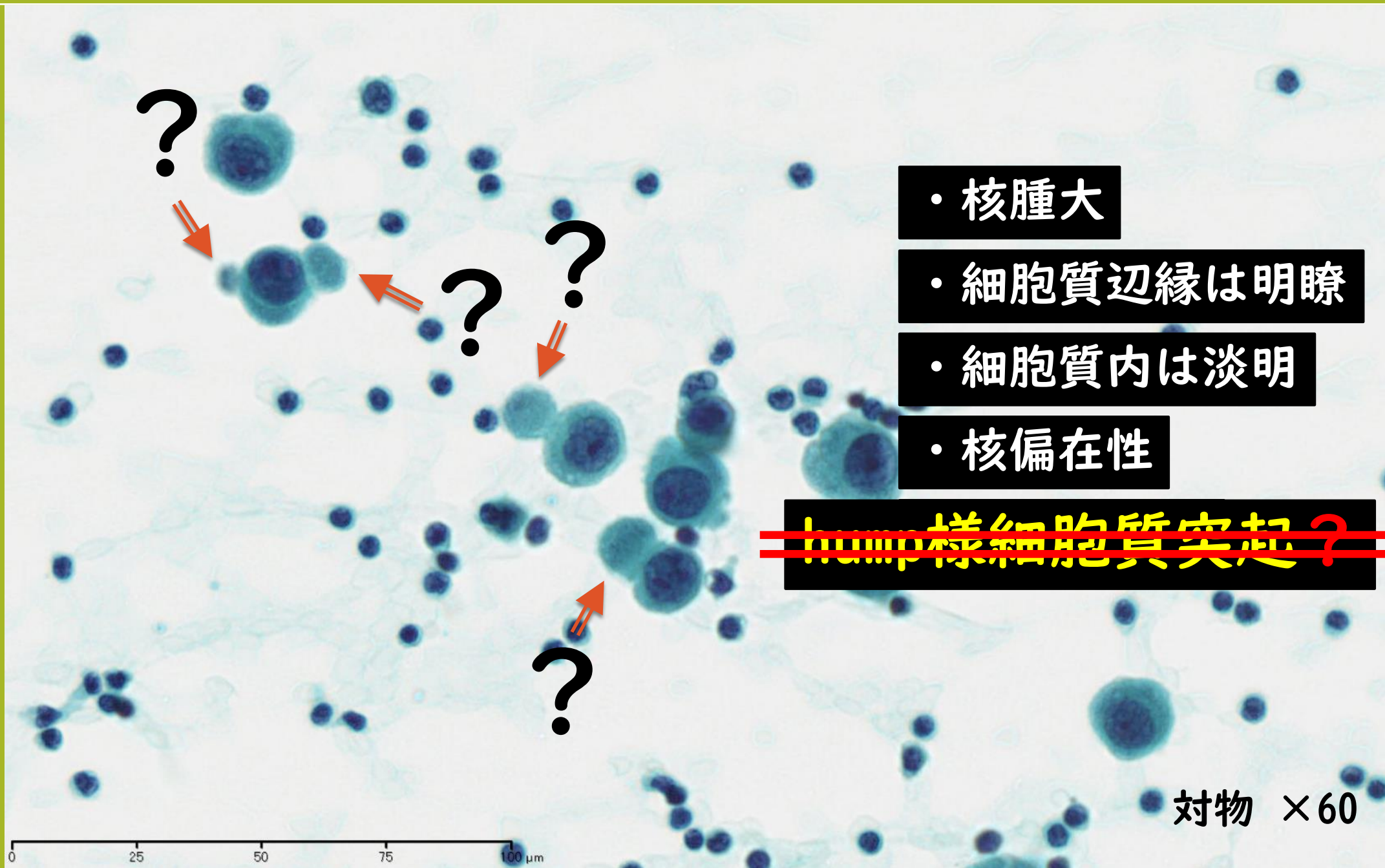
悪性中皮腫 hump



本症例







・核腫大

・細胞質辺縁は明瞭

・細胞質内は淡明

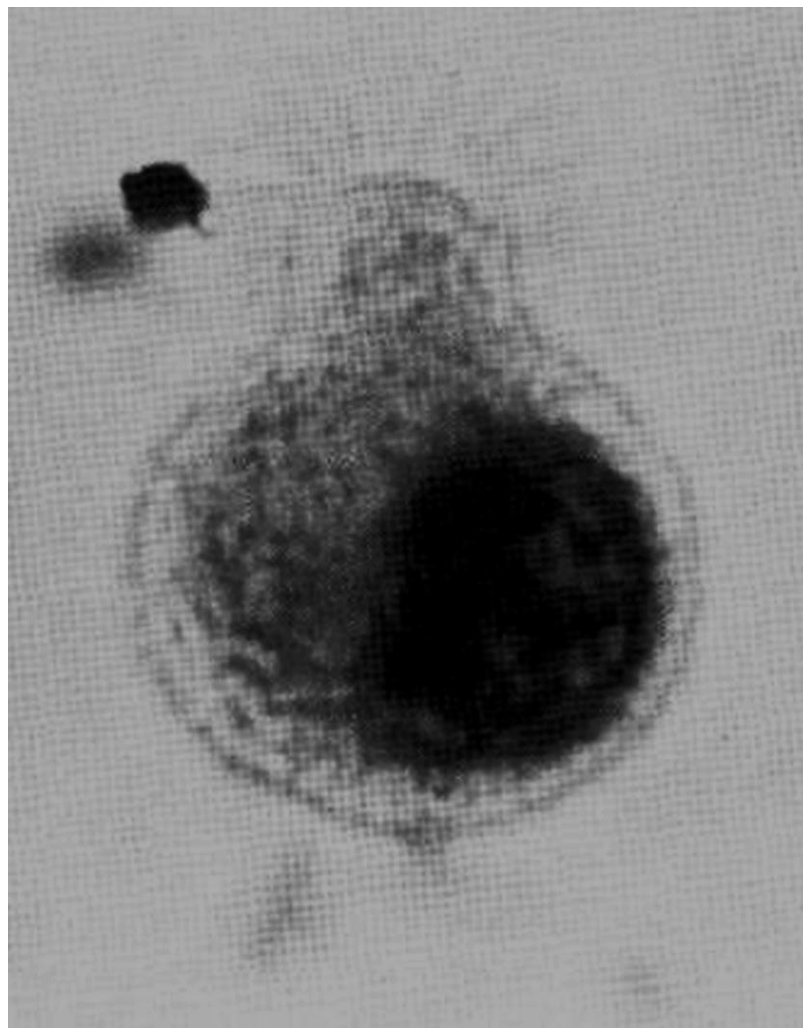
・核偏在性

~~hump様細胞質突起?~~

対物 ×60

日本臨床細胞学会誌 第38巻 第6号-1999

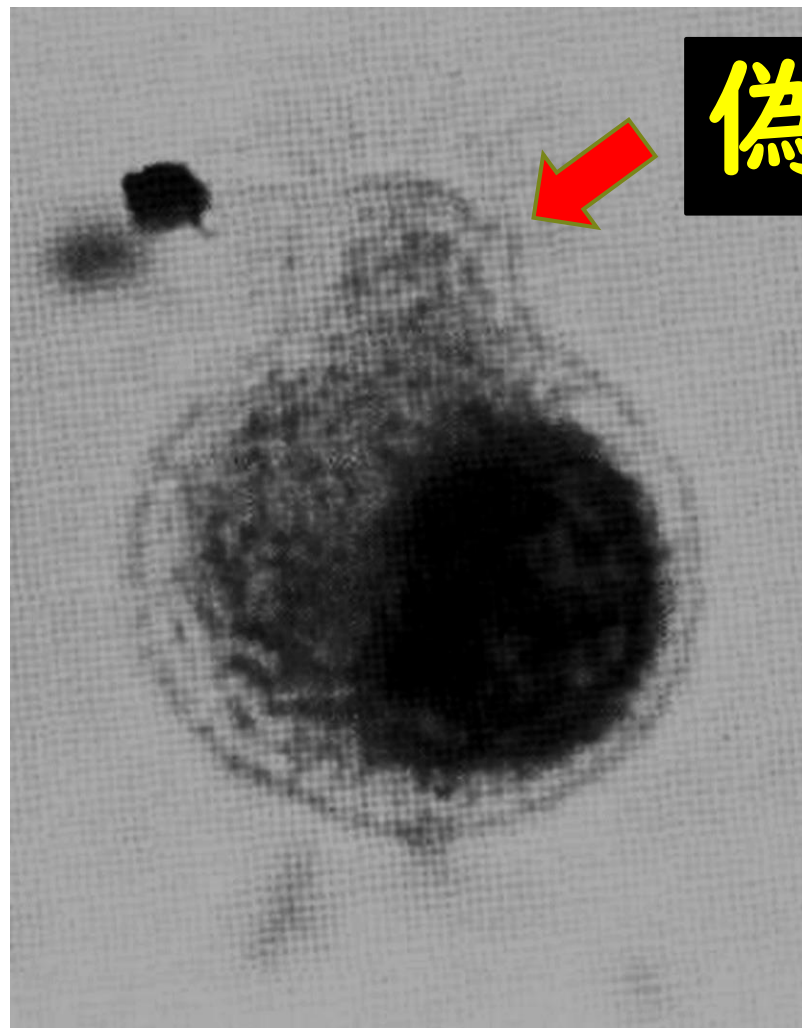
「髄液細胞診にて偽線毛をみた肺腺癌による髄膜癌腫症の1例」より



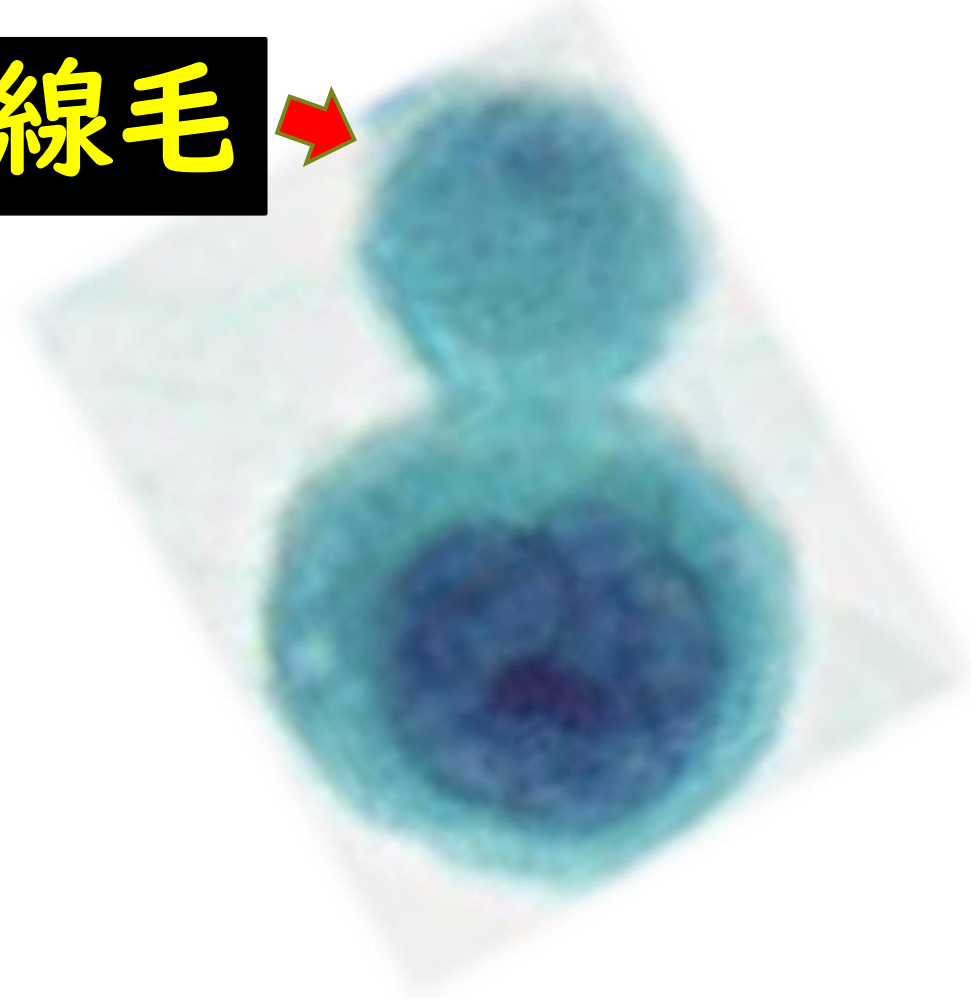
「電子顕微鏡にて、宝冠状に突出した細胞質は微絨毛の集簇であり、この構造が細胞診での偽線毛に相当すると推定された。」

日本臨床細胞学会誌 第38巻 第6号-1999

「髄液細胞診にて偽線毛をみた肺腺癌による髄膜癌腫症の1例」より



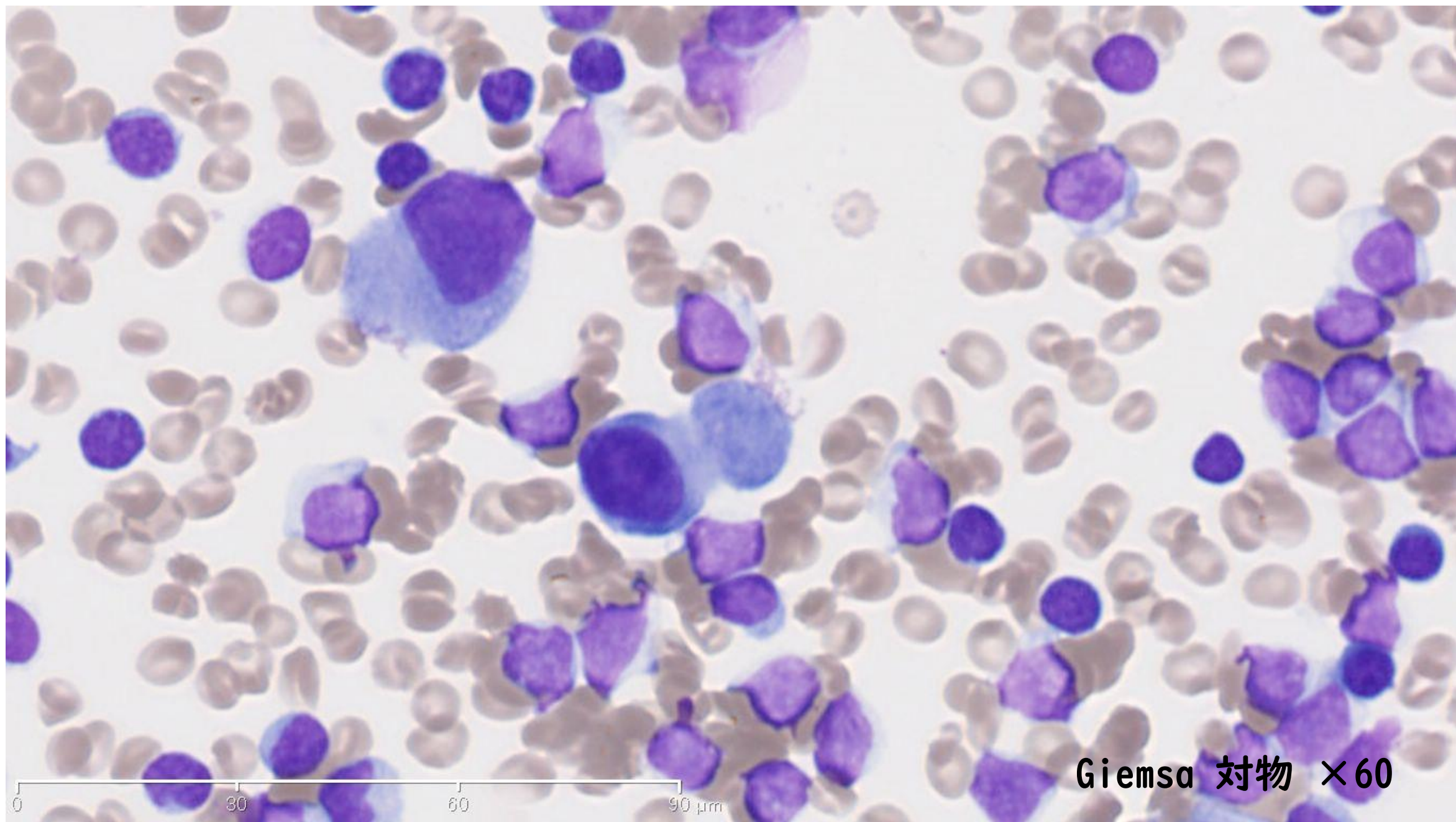
**偽線毛**



# 偽線毛

＝ 細胞の遊離縁に形成される微絨毛の変性と考えられ、真の線毛ではないことから現在では“偽線毛”と理解されている。

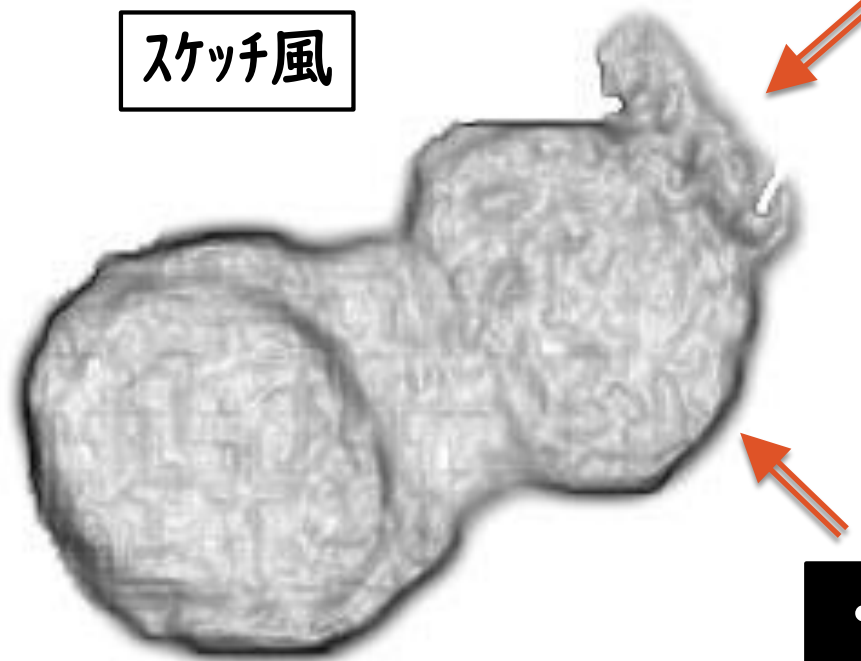




Giemsa 対物 ×60



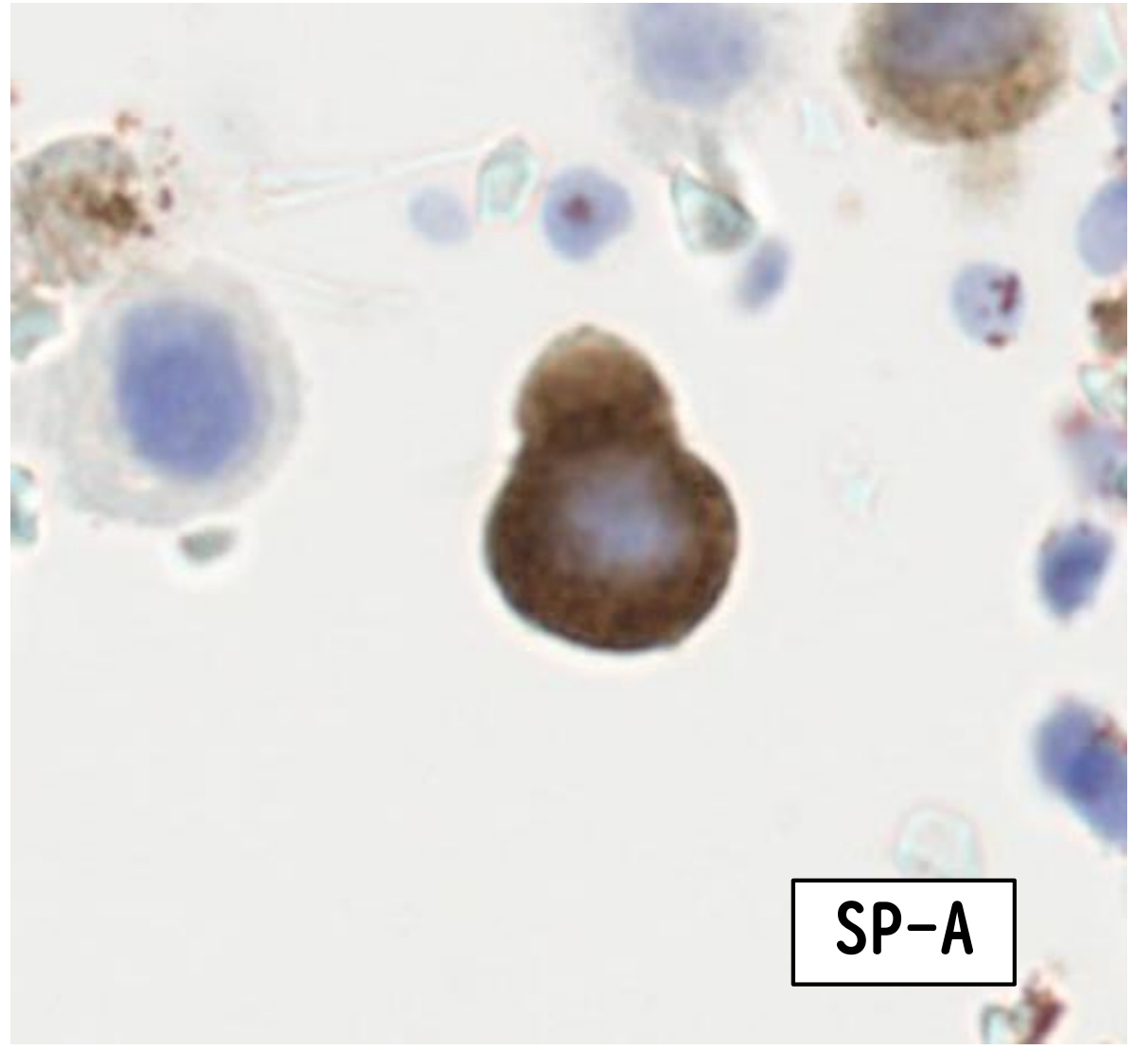
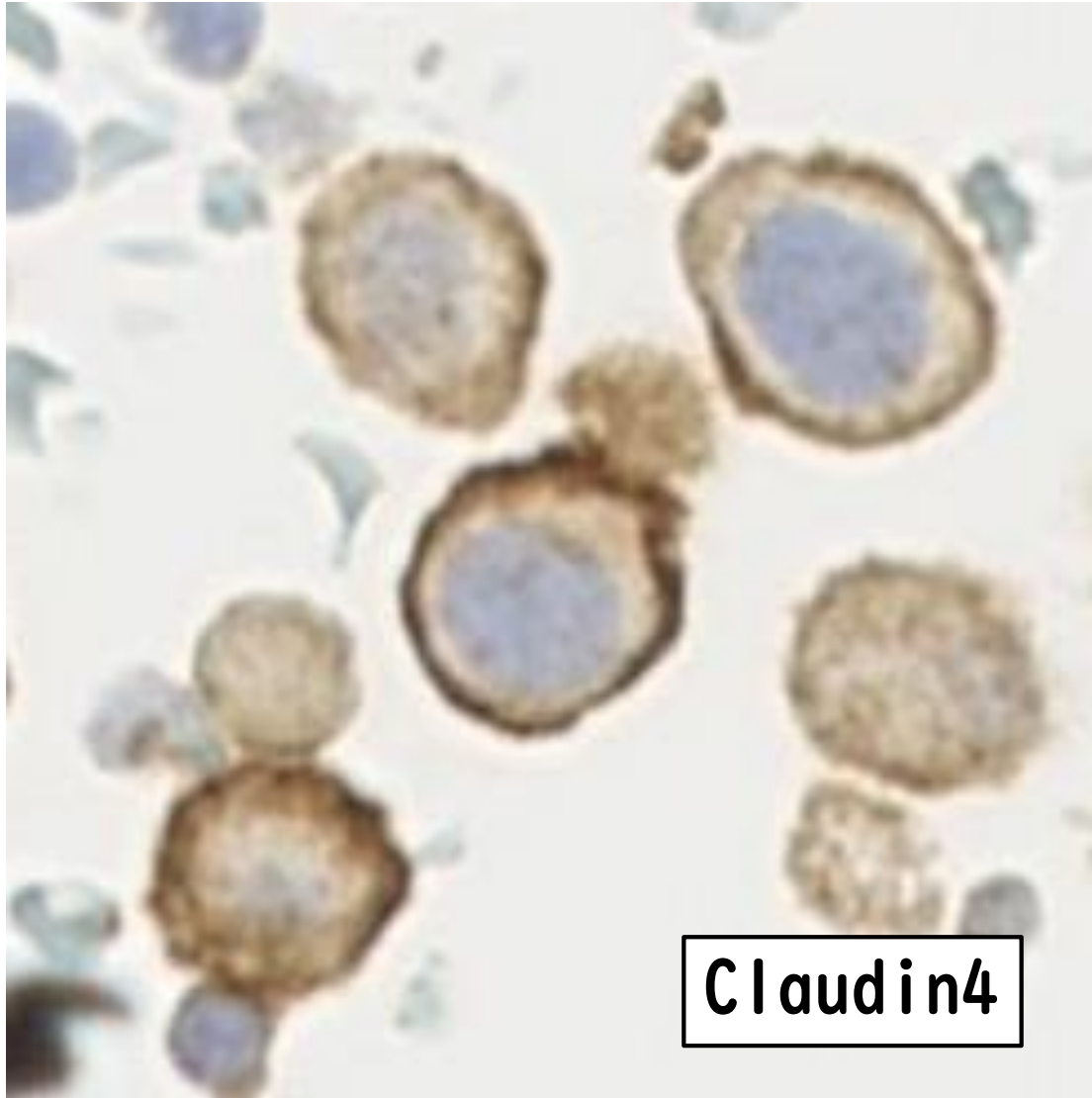
スケッチ風



・放射状に伸べる線毛

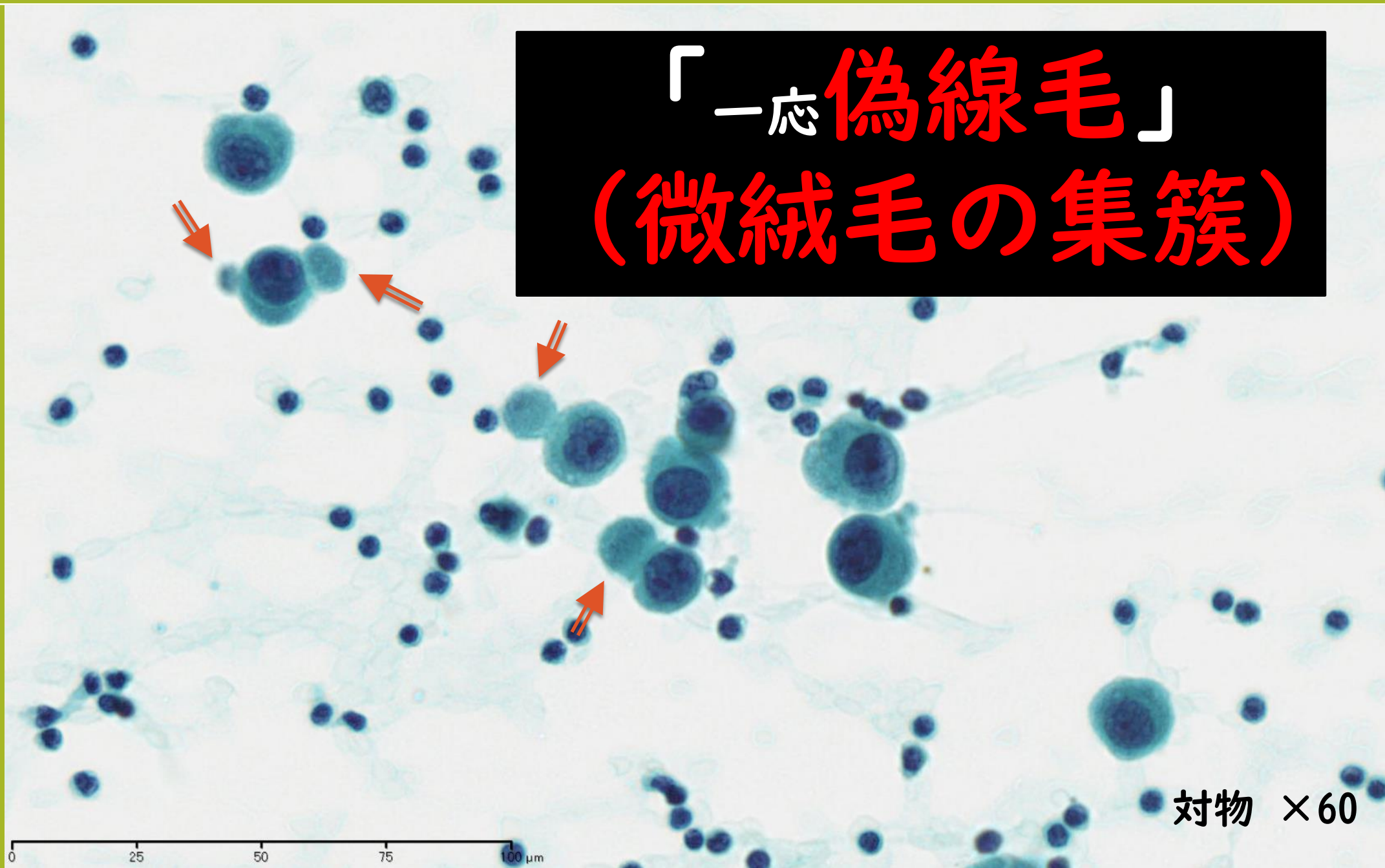
・宝冠状の細胞質突起

Giemsa 対物 ×60





「一応偽線毛」  
(微絨毛の集簇)



対物 ×60

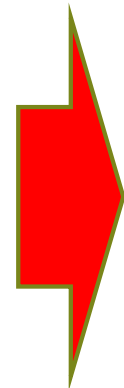


# (中皮腫取扱い規約)



中皮腫診断に役立つ細胞診所見より

特徴所見	本症例
背景の粘液様物質(ヒアルロン酸)	—
多数の中皮腫細胞の出現 (孤立性・球状・乳頭状細胞集塊)	—
Collagenous stromaを有する細胞集塊	—
細胞の大きさ(リンパ球の6倍以上)	+
核の大きさ(リンパ球の4倍以上)	+
窓形成および細胞相交所見	—
相互封入像およびhump様細胞質突起	—
細胞質の重厚感	—
細胞質辺縁の不明瞭化	—
2核以上の多核細胞の出現率増加 (出現細胞の25%程度)	—
オレンジG好性細胞	—



悪性中皮腫は否定的

血中CEA 142 ng/ml

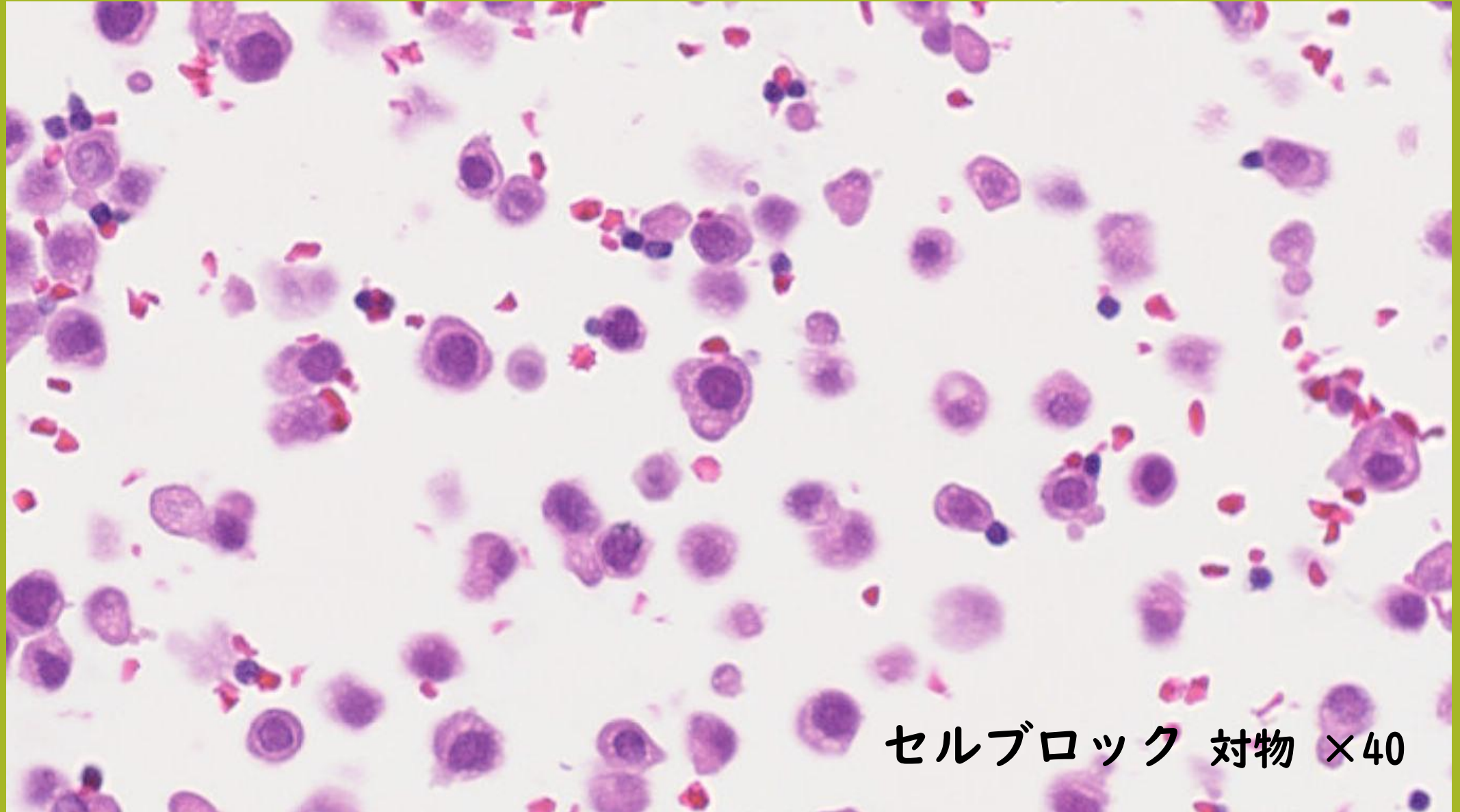


中皮腫では上昇しにくい

胸水ヒアルロン酸 26200 ng/ml



さらに高値の場合が多い



セルブロック 対物 ×40

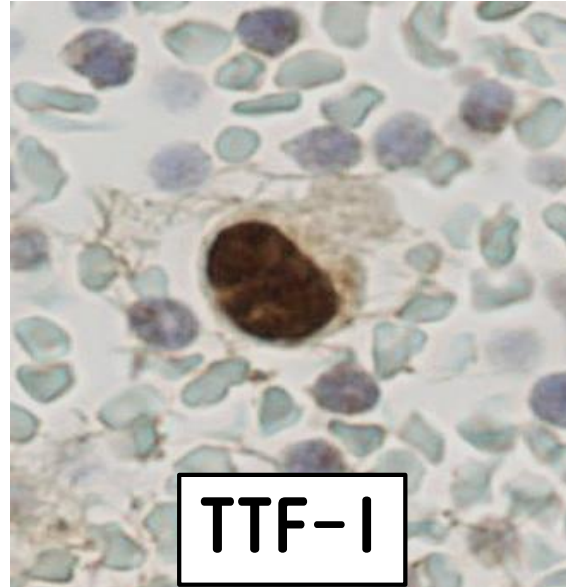
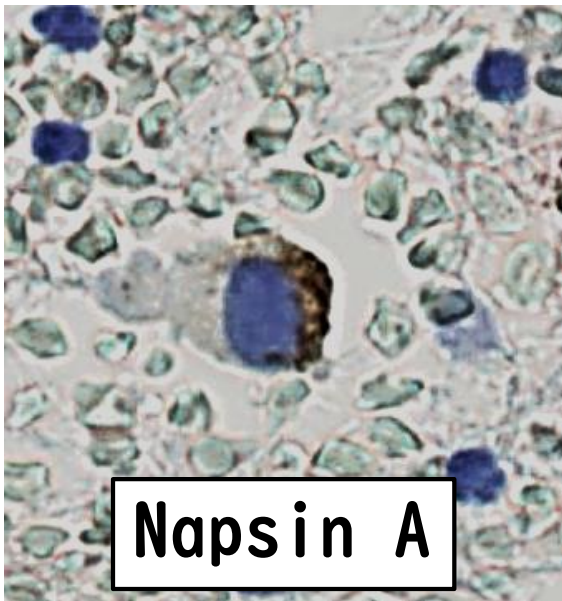
# セルブロックによる免疫染色結果

陽性

TTF-1, Napsin A,  
Claudin 4

陰性

Calretinin, WT-1,  
D2-40



肺腺癌細胞

肺腺癌の再発か？

① 反応性中皮細胞

② 腺癌

③ 扁平上皮癌

④ 悪性リンパ腫

⑤ 悪性中皮腫